

図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成31年
(2019年)

1



月号

第454号 (第37巻第10号)

【目次】

P 1	ライブラリースタートのご案内	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324

FAX (0143) 85-4325

ライブラリースタートのご案内

図書館では、未就学児に向けた読書活動の推進事業のひとつとして3歳児を対象に「ライブラリー・スタート」を行っています。

●「ライブラリー・スタート」とは？

お子様に「図書館で本を選ぶ楽しさ」を知っていただくため、自ら図書館に足を運んでいただき、サンプルから選んだ自分の好きな本を一冊プレゼントします。

毎月最終水曜日には「ライブラリースタートのおはなし会」を開催し、絵本の読み聞かせと「しおりづくり」などの工作を行い、本を借りる以外の図書館の楽しみ方をお伝えしています。(選んだ本は後日ご自宅へ発送します。おはなし会参加の場合は当日お渡しします。)

●申し込み方法について

3歳児健診の受診対象者にむけて「ライブラリースタートのお知らせ」と「ライブラリースタート申込書」を図書館より郵送しています。

用紙が届きましたら必要事項をご記入の上、下記にてお申し込み下さい。

<申し込み受付館>

図書館本館・アーニス分館・鷺別配本所・移動図書館車こぐま号

※申込書を紛失された場合は、本館児童室までその旨をお伝えください。



映画会

年始休館および事業等の都合により今月の映画会は休止します。

イベント・講座

※会場及び申込先：登別市立図書館

① 図書館郷土講座「登別の自然と登別化石林」

└ 講師 登別市文化財審議会委員・郷土資料館 S L G 倉澤保文さん

登別化石林など、登別の自然について学びます。

開催日時 1月19日(土) 午後1時30分～午後3時

 申込不要

② 絵本読み聞かせ講座

└ 講師 フリーアナウンサー 五十嵐いおりさん

読み聞かせのスキルアップ講座です。(定員30名)

開催日時 2月9日(土) 午後1時30分～午後3時

申込期間 1月12日(土) 午前10時～2月6日 午後6時

※定員になり次第、受付終了



おはなし会

※会場：①、③図書館1階のえほんのへや
②図書館3階会議室

① えほんのへやのおはなしかい (絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 1月12日(土) 午後2時より

② おはなしくれよん (わらべうたと手あそび)

日時 1月16日(水) 午前10時30分より

③ おはなしぽけっと (絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど)

日時 1月26日(土) 午後1時30分より



ロビー展示

『今月は、お楽しみ展示』

※テーマ・開催期間については、ご来館いただいてからの楽しみ！

事業報告

胆振図書館協議会研究集会報告

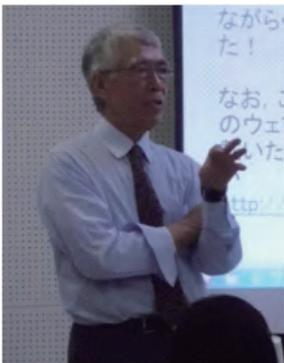
「ヨーロッパ公共図書館からの報告 --公共図書館の再定義が進むなかで--」

講師 永田治樹氏（筑波大学名誉教授、(株)未来の図書館研究所所長）

1 1月30日、登別市立図書館で胆振図書館協議会研究集会を実施しました。「公共図書館の将来にわたる持続可能性」が問われるなか、財政難と人口減少による施設の老朽化や人材確保など多くの課題にいち早く直面している北海道の中小自治体図書館はその先行事例となっています。そこで永田治樹先生をお招きして、『公共図書館の再定義』と『適正規模への再編成』・『サービスの再検討』に取り組んできたヨーロッパの公共図書館について学ぶ公開講演会を開催しました。英国のアイデアストアとコミュニティ図書館・オランダの法人図書館と課金制・デンマークのオープン図書館と広域図書館などの事例を考察しました。

講演を快諾してくださった永田先生、ありがとうございました。講演会のスライドは永田先生が主宰する「(株)未来の図書館研究所」のホームページからご覧いただけます。

<http://www.miraitosyokan.jp>



クリスマス工作を開催しました



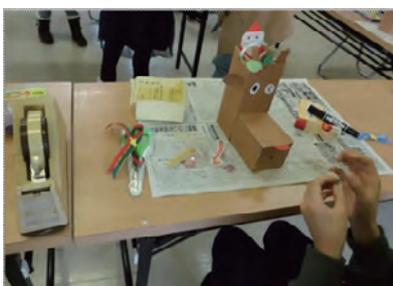
1 2月8日（土）小学校1年生から3年生まで7名が参加して、図書館3階会議室にてクリスマス工作がにぎやかに行われました。

今年度は、牛乳パックを2つ使い「トナカイの小物入れ」作りに挑戦しました。

「赤鼻」に見立てた取っ手のついた「ひきだし」の組み立てや両面テープの取扱いにやや手こずりながらも、みんな同じペースで進めていくことができました。

最後は、思い思いに選んだシールやリボンで飾り付け、お気に入りの一品に満足したようです。

<作業中のみなさん>



<完成品>



アーニス分館だより

アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * オンライン・データベースを利用できます。
- * DVDを視聴できます。
- * 見やすい大活字本もあります。
- * 貸出が済んだ本は、アーニス分館入口前の「お休み処」で読む事が出来ます。



イベント報告

4回目を迎えた今年は、折り紙でキャラクターかべかざりを作りました！

12月1日、午前の部3名・午後の部9名の参加者と保護者の方、大勢で楽しく作る事が出来ました！

キャラクターの顔づくりに少し苦戦しましたが、出来上がるとカワイイ♡と声上がり、皆さんの笑顔がこぼれるとスタッフ一同とても嬉しく思いました！
同じキャラクターでも個性のあるかわいいキャラクターに変身するのだと、あらためて子どもたちの発想力に驚きでした！

たくさんの方々に参加いただきありがとうございました。



館内にイベント時の写真を掲示しています。どうぞご覧ください！

《新刊おすすめ雑誌紹介》



レクリエ 別冊家庭画報 (隔月刊) / 世界文化社



介護をサポートするレクリエーション情報誌。介護レク・ケアの方法など介護現場で今すぐ役立つアイデアが充実しています。季節の壁面や絵手紙・ぬりえなどの製作アイテムも満載です。

季節を感じられる製作は、身近な材料で誰でも楽しみながら簡単に作れます。介護の現場で困った時は『レクリエ』を参考に見て下さい。レクをきっかけに会話やコミュニケーションが広がるかもしれません。

市民のひろば

読みきかせに参加して



おはなしぽけっと会員 田中和子

登別市立図書館に通うようになった時、それまで絵本は本屋さんの一部の棚で見えておらず、これだけの種類の多さに驚いてしまったことを覚えている。中でも大型絵本の大きさには目を見張り、同じ登別市内でもここ図書館にまで来られない子供たちに何とかこの大きい本の感動を伝えてあげたい、この気持ちだけで我子が小さい頃お世話になっていた児童館での読み聞かせが始まった。

その同じ時期に「おはなしぽけっと」に加わり図書館に月に何度か通い1階フロアの絵本をいつか全部読んでみたいと、おかしな挑戦にかられ只々借りにきて最初の頃は多い年で573冊、334冊、210冊と数だけは自分の記録で後になりびっくりしてしまう。

ここ最近では年に150冊程に落ちついたが本当にお世話になっている。でも未だにどの棚の列まで読めたのだろうと絵本の蔵書の多さに負けている残念な自分がいる。

図書館で月1度、職員の方も必ず加わって下さる読みきかせ会、児童室の畳の上で聞いてくれる幼児とお母さんたち。児童館に遊びに来ている元気な子供たち。幌別小学校の朝読書の時間の10分間に聞いてくれる子供たち。授業が終って身体的にも疲れていても児童クラブで待っていてくれる子供たち。どの子どもとても可愛いく絵本の世界に見入ってくれているように見え、読ませてもらっている冥利につきる。

自分の子供や孫たちに絵本を読んでいた時、どうも私は出来もしないのに中村メイコさんのような七色の声を使い分けてみたくなりオーバーにやっていたのだが、読みきかせをするためにあたる大方の本には淡々とそしてあまり感情を強調しすぎずとある。絵本を書いている作家さんたちの子供たちに伝えたいことを曲げずにそのまま読んでいるのだろうかと何年たっても模索中である。

今の時代の子供たちは、1歳の頃から文明の成果の機械やメディアの中で生きている。その時に自分の思いで何か心のよりどころになる趣味のようなものを持ちたいと始めた読みきかせ。今の時代の機械の波に逆らいながら絵本を1冊でも子供たちに届けたい。

どこにその役割がうまくはまるかわからないが、老眼鏡をかけ腰を曲げて脇に絵本をかかえ何人かの子供たちに聞いてもらっている「おばあさんの読みきかせ」そんな自分の生涯学習かなと考えている。



TV・映画・マンガ・ゲームをもっと楽しむ読書のすゝめ

あなたはなぜ、本を読むのですか？－この答えは、まさに人それぞれだと思います。

小・中学生の場合は、「本を読まなければならないから」だったり、高校生や大学生だと「試験や進学・就職のために読まなければならないから・読んでおいた方がよさそうだから」だったり・・・

でも、読書が趣味である方の多くは、「読書が楽しい！」と感じているのではないのでしょうか。私も本を読むのが好きな一人ですが、やっぱり楽しくないと続きませんよね。

私は、歴史ものの本が特に好きです。このジャンルを読み始めたきっかけは「TVゲーム」です。中学～高校生の頃、叔父の影響で歴史シミュレーションゲームにハマっていきました。当時、歴史は苦手科目の一つだったので「信○の野望」や「○國志」を上手く進めるのにとっても苦労しました。

そこで思いついたのが、「歴史を覚えればゲームを有利に進められる！」ということでした。攻略本を読むという発想は無く（今考えれば、それが一番手っ取り早い方法でした・・・）、文庫本の三国志全巻（吉川英治著）を、ひたすら読んだのです。

すると・・・。活字を目で追いながら頭の中で登場人物や場면을イメージしているうち、ゲームよりも本を読むほうが楽しくなってきました。三国志を読み終わると次は違う時代、また次は違う時代や別の国など・・・。そんなことを繰り返しているうち、TVやマンガなどで歴史をテーマにしたものを見たときに「本で読んだあの場面だ！」「この人とこの人は・・・」などと想像しながら楽しめるようになりました。

今なら、例えば人気マンガ「キン○ダム」は春秋戦国時代をテーマに描かれていますし、同じく人気の「ゴール○ンカムイ」は北海道が舞台となっています。これらの作品に登場する人物や事柄について知っていると、この先の展開などを予想して楽しめると思います。

また、TVドラマや映画の原作を読むのもオススメです。先に映像を観て、後から本を読むと場면을イメージしやすいので、何だかお得な気分になります。

このコラムを読んでくださっているあなたは、読書（図書館？）を好きでいてくれる方でしょうか？それとも、初めて「図書館通信」を手にとった方でしょうか？

もし、あなたの身近に「読まなければならないから」読んでいる方がいるなら、こんな本の読み方もご紹介ください。

たくさんの人に「読書の楽しさ」が届きますように・・・

「マサイのルカがスマホで井戸を掘る話」

ルカ・サンテ／著, GO 羽鳥／著 学研プラス

スパ！（マサイ語でこんにちは） 枯れた井戸を直すためケニアのマサイ族であるルカが日本のネットニュースのライターとなりお金を貯めるまでの話。

井戸を直すために必要なお金は日本円で約 11 万円。日本のライターになるならばすぐに貯まるのでは？と思うが、そこは日本とケニアで大違い。家に電気が来ていないため徒歩 10 キロの道を行きお金を払ってスマートフォンの充電もしなければいけないし、日本のように通信データの使い放題があるわけではないので写真 1 枚送信するのにもその都度お金がかかる。ライターとしての収入から家族も養わなければならない。さらにライオンと戦う戦士であるマサイ族がライオンを殺したことにより、法律によって逮捕された弟の保釈金約 3 万円を払わなければならないなど、お金を貯めるためには様々な問題が降りかかる…！

ほぼ話し言葉でかかれており、写真も多く楽しく読める 1 冊。テレビだけではわからないマサイ族の暮らしをのぞいてみてはいかがだろうか？ **オレセリ!**（マサイ語でさようなら）



郷土資料紹介

「青函トンネル 夢と情熱の軌跡」

黒沢 典之著 日本放送出版協会

昭和 29 年津軽海峡を直撃した「洞爺丸台風」、台風 15 号マリーは青函連絡船 5 隻を沈める被害を出した。この被害により必要性が急速に高まった青函トンネル開通が実現に向けてどのように進んでいったのかが本書の内容だ。

特に北海道福島町について書かれた章が印象的だ。開通工事当初は北海道側のトンネル口として想定されていた福島町だが、途中の計画変更により知内町にトンネル口が移ってしまう。トンネル口の町としての発展計画は根幹から崩れてしまい、大半がトンネル工事に従事していた町民はトンネル開通と共に仕事がなくなる将来に不安を感じている。昭和 58 年出版の本書は青函トンネル工事中であり、トンネル工事関係者や存命であった台風の被害者や、トンネル開通調査に携わった人などへの聞き取り当時ならではのインタビューは読み応えがある。

北海道新幹線も運航開始から 2 年がたち、今や当たり前のものでありながら青函トンネルを利用しているが、当たり前のものであるまへには多くの困難があった。

青函トンネルに関しては青函連絡船など関連本も図書館に所蔵しているので、ぜひ合わせてご利用いただきたい。



新着図書案内 平成31年1月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		地の果てのありえない物語	クリス・フィッチ
すいません、ほぼ日の経営。	糸井 重里ほか	プラタモリ 13・14 京都(清水寺・祇園) 黒部ダム 立山	NHK「プラタモリ」 制作班監修
絵本は心のへその緒	松居 直	光秀からの遺言	明智 憲三郎
人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」	新井 紀子編・ 東中 竜一郎編	学校では教えてくれない世界史の授業	佐藤 賢一
● オランダ公共図書館の挑戦 サービスを有料にするのはなぜか?	吉田 右子	日本ワインと手仕事の旅	後藤 由紀子
無敵の東大脳クイズ	伊沢 拓司 監修	菅江真澄が見た日本	石井 正己
脱近代宣言	落合 陽一ほか	天皇はなぜ紙幣に描かれないのか	三上 喜孝
時事漫才(爆笑問題の日本原論)	爆笑問題	心と体に効く温泉	佐々木 政一
1 哲学・宗教		こだわり女子旅行 ストーリーのある旅へ。	交通新聞社
● 才能の正体	坪田 信貴	おもてなしで巡るニッポン	OMOTENASHI NIPPON実行委員会
1日1問!面白いほど地頭力がつく 思考実験	北村 良子	3 政治・経済・社会・教育	
「死」とは何か	シェリー・ケーガン	ブラック・バンド アメリカ史上最凶の犯罪結社	スティーヴン・ トールティ
1万2000人を見てわかった!お金に困らない人、困る人	松尾 昭仁	サカチとヤクザ 暴力団の巨大資金源「密 漁ビジネス」を追う	鈴木 智彦
“ふがない自分”と生きる 渡辺和子	渡辺 和子	2018. 9. 6北海道胆振東部地震 報道写真集	北海道新聞社
「墓じまい」の結末	森下 瑞堂	国境なき助産師が行く	小島 毬奈
超訳カーネギー人を動かす	D. カーネギー	平成風雲録 政治学者の時間旅行	御厨 貴
「先延ばし」する人ほどうまくいく	アンドリュウ・ サンテラ	レシピで味わう世界の食文化	石毛 直道
なるべく働きたくない人のためのお金の話	大原 扁理	データサイエンス「超」入門	松本 健太郎
すごいオリエント占星術	水晶 玉子	● 肉食の社会史	中澤 克昭
● 死ぬこと以外かすり傷	箕輪 厚介	● 夜回り先生 原点	水谷 修
2 歴史・地理		森林官が見た山の彼方の棲息者たち	加藤 博二
運命 文在寅自伝	文 在寅	● 自衛隊防災BOOK	マガジンハウス
● チキンラーメンの女房 実録安藤仁子	安藤百福 発明記念館	沖縄アンダーグラウンド 売春街を生きた者たち	藤井 誠二
● 無限の宇宙 ホーキング博士とわたしの旅	ジェーン・ ホーキング	プロが“身内だけ”にこっそり教える 最強の保険選び	都倉 健太
冬の北海道 2018	昭文社	● 山怪 3 山人が語る不思議な話	田中 康弘
● 信長公記 戦国覇者の一級史料	和田 裕弘	ルポひきこもり未満	池上 正樹
● 保阪正康歴史を見つめて	保阪 正康	『賢い子』は図鑑で育てる	瀧 靖之
マーガレット・サッチャー	富田 浩司	● いま君に伝えたいお金の話	村上 世彰
図説ヴィクトリア女王の生涯	村上 リコ	● ニッポン離島の祭り	箭内 博行 写真・文
生きづらい明治社会 不安と競争の時代	松沢 裕作	よくわかる新たな配偶者控除等適用ガイド	石井 敏彦
● 伊能図探検 図書館版	河出書房新社 編集部	● 万引き依存症	斉藤 章佳
江戸→TOKYOなりたちの教科書3 東京の基盤をつくった「武家屋敷物語」	岡本 哲志	学年誌が伝えた子ども文化史 昭和30~39年編	小学館
江戸三百藩大名列伝	小学館	スマホに負けない子育てのススメ	諸富 祥彦

新 着 図 書 案 内 平成31年1月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
100歳の秘訣	歌代 幸子	5 技術・工業・家事	
● ニホンオオカミの最後	遠藤 公男	このゴミは収集できません	滝沢 秀一
● 障害のある子の「親なきあと」	渡部 伸	発酵おやつ	山田 奈美
55歳からのリアル仕事ガイド	松本 すみ子 監修	玉ねぎ×ワタナベマキ=だし・うまみ	ワタナベ マキ
20代の転職成功者は何から始めたのか?	20代の転職相談所	日本のダム美	川崎 秀明
世界の空き家対策	米山 秀隆ほか	ほぼ100円飯	リュウジ
経営者のための商工会・商工会議所 150%トコト活用術	大田 一喜	農家の台所から	Farmer's KEIKO
今さら聞けないお金の超基本	坂本 綾子	ホテルオークラ元総料理長の わが家でプロの味	根岸 規雄
アイヌの伝承と民俗 新装版	ジョン・バチラー	棒針編みのあみぐるみ	伊吹 広子
はじめてママ&パパの0~6才男の子の育て方	渡辺 とよ子 監修	ハンドメイドのかんたん子ども服	ブティック社
4 自然科学・医学		日本の最も美しい赤レンガの名建築	歴史的建物研究会
日本列島の下では何が起きているのか	中島 淳一	帰って10分絶品おかず	武蔵 裕子
ゆるレシピでからだクリーニング	大越 郷子・ 水野 香織	「だけ」レシピ あれこれしない!	市瀬 悦子
乳がんにも負けない! あなたの命を守る食事	家庭栄養研究会編	ゆる美容事典	高瀬 聡子
● 絶滅できない動物たち	M. R. オコナー	しずく堂の大人に似合う手編みこもの	しずく堂
血管を守る250のQ&A事典	「きょうの健康」 番組制作班	悩みがぶっ飛ぶ50代からの ヘア&メイク術	えがお写真館 ・船津 有史
あなたの老いは舌から始まる	菊谷 武	ごはんのきほん レシピを見ないで 作れるようになります。	有元 葉子
ボケない技術(テク) 新版	奥村 歩	野口光の、ダーニングでリペアメイク	野口 光
私は、看取り士。	柴田 久美子	最新! 離乳食新百科 5カ月から1才6カ 月ごろまでこれ1冊でOK!	太田 百合子 総監修
産婆と産院の日本近代	大出 春江	手編みを楽しむ日々の巻きもの	ブティック社
医者が考案した「長生きみそ汁」	小林 弘幸	富士屋ホテルの営繕さん	LIXIL出版
ポックリ往生の極意	志賀 貢	iPod特許侵害訴訟 アップルから3.3億円 を勝ち取った個人発明家	新井 信昭
地球46億年気候大変動	横山 祐典	● まぼろしの奇想建築	フィリップ・ ウィルキンソン
発達障害に生まれて	松永 正訓	最新! 妊娠・出産新百科	杉本 充弘 総監修
検査結果なんでも早わかり事典 最新版	小橋 隆一郎	フェルトのおままごと	寺西 恵里子
老いた親へのイラッとする気持ちのスーッと消える本	榎本 睦郎	ツウになる! パスの教本	広田 民郎
● 男たちよ、ウエストが気になり始めたら、 進化論に訊け!	リチャード・ ブリビエスカス	おはよう! アジアの朝ごはん	口尾 麻美
● 世界史を変えた13の病	ジェニファー・ライト	ワイヤークラフトでつくる天人かわいい インテリア雑貨	栗原 身和子
科学の迷信 世界をまどわせた思い込みの真相 姿勢の本	日経ナショナル ジオグラフィック社	生命力を足すレシピ	麻木 久仁子
● 疲れにくい! 痛まない! 不調にならない!	山口 正貴	● 北海道おいしいそばの店	梅村 敦子
にっぽんツバメ便り	宮本 桂 写真	「軸色」を持ってばかんたん大人の服選び	谷口 美佳
50歳からの婦人科	松峯 寿美 監修	Theサラダ&スープ500	柴田書店
● 揺れ動く大地 プレートと北海道	木村 学共著	たくさん編みたいキッズのあったか♥ニット 90~120cmサイズの子どもたちへ	ブティック社

新着図書案内 平成31年1月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
6 産業・商業		913 日本の小説	
ピクルスと漬け物の歴史	ジャン・デイヴィソン	● 野の春(流転の海 第9部)	宮本 輝
残念すぎるネコ	沖 昌之	● どんまい	重松 清
スマートフォン最新アプリ 2019年版	松村 武宏	● エムエス 継続捜査ゼミ 2	今野 敏
日本懐かし遊園地大全	佐々木 隆	時代	本城 雅人
ときめく薔薇図鑑	元木 はるみ	男たちの船出	伊東 潤
柴犬りゅうじ	本嶋 由希子	30センチの冒険	三崎 亜記
はじめての今さら聞けない アフィリエイト入門 第2版	染谷 昌利	● 沈黙のパレード(ガリレオ 9)	東野 圭吾
ペットを安らかに送る終活のすべて	主婦の友社	最終標的(所轄魂 5)	笹本 稜平
超・インバウンド論 業界、規制、国境、あらゆる枠を乗り越えろ!	坪井 泰博・ 村山 慶輔	● ウェディングプランナー	五十嵐 貴久
7 芸術・スポーツ		第六天の魔王なり	吉川 永青
旅する画家藤田嗣治	林 洋子 監修	車輪の上	乙武 洋匡
メンデルスゾーンの音符たち	池辺 晋一郎	ねじれびと	原 宏一
からぬけ落語用語事典	本田 久作	人間狩り	犬塚 理人
● 黒板アート甲子園作品集	日学株式会社 総監修	死神の選択	嘉山 直晃
● 井山裕太の碁 強くなる考え方	内藤 由起子	ドライブインまほろば	遠田 潤子
修復家だけが知るストラディヴァリウスの真価	中澤 宗幸	バロルの晩餐会 ハロウィンと五つの謎々	夢枕 獏
スポーツ映画トップ100	芝山 幹郎	● その先の道に消える	中村 文則
西部劇を極める事典	芦原 伸	十津川警部両国駅3番ホームの怪談	西村 京太郎
このとおりにやれば必ずキレイに 写せる子ども写真の撮り方	椎名 トモミ	十津川警部長崎路面電車と坂本龍馬	
日本懐かしアニソン大全 レコード探偵団	腹巻猫	● 童の神	今村 翔吾
● 「その後」のゲゲゲの女房	武良 布枝	永遠(とわ)の詩	香月 夕花
● 死に山 世界一不気味な遭難事故《ディア トロフ峠事件》の真相	ドニー・アイカー	2. 43 清陰高校男子バレー部 春高編	壁井 ユカコ
今日からはじめる健康マージャン入門	日本健康麻将協会 監修	● ある男	平野 啓一郎
堤防釣り	大泉書店編集部	宴の前	堂場 瞬一
● 超越の棋士羽生善治との対話	高川 武将	猫のエルは	町田 康
手作りのポップアップカードBOOK	鈴木 孝美	● 下町ロケット 4 ヤタガラス	池井戸 潤
パリ・パリ パリ新発見★再発見	藤田 一咲 写真・文	● 天子蒙塵 第4巻	浅田 次郎
ディズニー折り紙あそび 改訂版	いしばし なおこ	蕪村 己が身の闇より吼て	小嵐 九八郎
8 言語		● 草原のcock・オー・ヴァン (高原カフェ日誌 2)	柴田 よしき
大人の語彙力「言いまわし」大全	齋藤 孝	犯罪乱歩幻想	三津田 信三
旧字源 旧漢字でわかる漢字のなりたち	青木 逸平	● 湖底の城 呉越春秋 9巻	宮城谷 昌光
人一倍時間がかかる人のための すぐ書ける文章術	吉田 裕子	● ことことこーこ	阿川 佐和子

新 着 図 書 案 内 平成31年1月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
● ゴンちゃん、またね。	ビートたけし	鬼嵐	仙川 環
● 銀河食堂の夜	さだ まさし	猫のお告げは樹の下で	青山 美智子
龍華記	澤田 瞳子	アンドロメダの猫	朱川 湊人
みずうみの妻たち 上・下	林 真理子	ガラスパードは還らない (マリア&漣シリーズ 3)	市川 憂人
大名絵師写楽	野口 卓	永善堂病院もの忘れ外来	佐野 香織
黄金の代償	福田 和代	脱藩さむらい	金子 成人
たてがみを捨てたライオンたち	白岩 玄	9 その他の文学	
● ベルリンは晴れているか	深緑 野分	● ブラック・スクリーム (「リンカーン・ライム」シリーズ 13)	ジェフリー・ ディーヴァー
ゆっくり十まで	新井 素子	90歳を生きること 生涯現役の人生学	童門 冬二
光の人	今井 彰	83 1/4歳の素晴らしき日々	ヘンドリック・ フルーン
一緒にお墓に入ろう	江上 剛	にゃんこ天国	阿部 昭ほか
少女たちは夜歩く	宇佐美 まこと	● とんりの脳世界	村田 沙耶香
TEN	楡 周平	● アディオス！ジャパン 日本はなぜ凋落したのか	真山 仁
緑のなかで	椰月 美智子	出会って別れて、なぜ悪い？	松尾 スズキ
ひとつむぎの手	知念 実希人	あとがき	片岡 義男
● 漂砂の塔	大沢 在昌	童話作家のおかしな毎日	富安 陽子
● 思い出が消えないうちに (「コーヒーが冷めないうちに」シリーズ3)	川口 俊和	両方になる	アリ・スミス
大和維新	植松 三十里	● 銀河を渡る 全エッセイ	沢木 耕太郎
● 想い人(あくじゃれ瓢六 6)	諸田 玲子	インヴィジブル	ポール・オースター
叙述トリック短編集	似鳥 鶏	考える葦	平野 啓一郎
絵里奈の消滅	香納 諒一	あの頃、君を追いかけた	九把刀
はしからはしまで (みとや・お瑛仕入帖 3)	梶 よう子	● すべての男は消耗品である。最終巻	村上 龍
別れの霊祠(溝猫長屋祠之怪 5)	輪渡 颯介	ふたつのオリンピック 東京1964/2020	ロバート・ ホワイティング
● 影ぞ恋しき	葉室 麟	筒井康隆、自作を語る	筒井 康隆
一線	田中 経一	“介護後”うつ	安藤 和津
明治銀座異変	滝沢 志郎	吉本ばななが友だちの悩みについてこたえる	吉本 ばなな
悪魔と呼ばれた男	神永 学	夏井いつきの季語道場(NHK俳句)	夏井 いつき
● 花咲小路三丁目北角のすばるちゃん	小路 幸也	脱産後うつ 私はこうして克服した	ミイ
人類滅亡小説	山田 宗樹	文豪たちのラブレター	別冊島鳥編集部
時限感染 殺戮のマトリョーシカ	岩木 一麻	シルバー川柳 百歳バンザイ編 笑いあり、しみじみあり	みやぎ シルバーネット
破天荒フェニックス オンデーズ再生物語	田中 修治	● 牧水の恋	俵 万智
ドッペルゲンガーの銃	倉知 淳	● 監禁面接	ピエール・ ルメートル
真犯人の貌 川口事件調査報告書	前川 裕	● グッバイ・クリストファー・ロビン 『クマのプーさん』の知られざる真実	アン・スウェイト

図書館の無線LAN設備についてのお知らせ

このたび、図書館本館に公衆無線LAN設備が増設されました。

今までは、NTT docomo、au、softbankの各携帯電話事業者による無線LAN(WiFi)のみ設置しておりましたが、今回の増設でFREESPOTが利用できるようになり、パソコンやタブレット端末などでもインターネット接続が可能となりました。

設定・登録方法は館内に掲示しておりますので、お気軽にご利用ください。



登別市立図書館

図書館カレンダー 平成31年(2019年) 1月

日	月	火	水	木	金	土
		1 元日	2	3	4	5
		← 年未年始休館 (本館・こぐま号・アーニス分館・鷺別配本所・登別配本所) →				
6	7 本館休館	8	9	10 ブックスタート 分館休館	11	12 えほんのへやのおはなし会 読み聞かせ講座 受付開始
13	14 成人の日 本館休館	15 祝日振替 本館休館	16 おはなしくれよん	17 分館休館	18	19 図書館郷土講座
20	21 本館休館	22	23	24 分館休館	25 図書整理日 本館休館 分館休館	26 おはなしほけっと
27	28 本館休館	29	30 ライブラリースタート おはなし会	31 分館休館	2/1	2/2 映画会

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年未年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年未年始	年未年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00